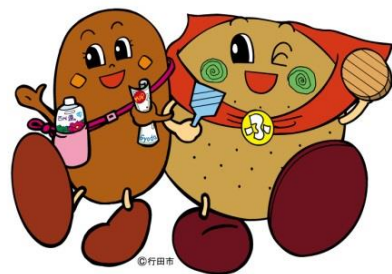


令和4年10月5日(水)

歴史と文化の薫りが漂う忍城址周辺のまち歩き



行田市公式キャラクター
こぜにちゃん(左)、フラベエ(右)

歴史のみち広域景観形成プロジェクト

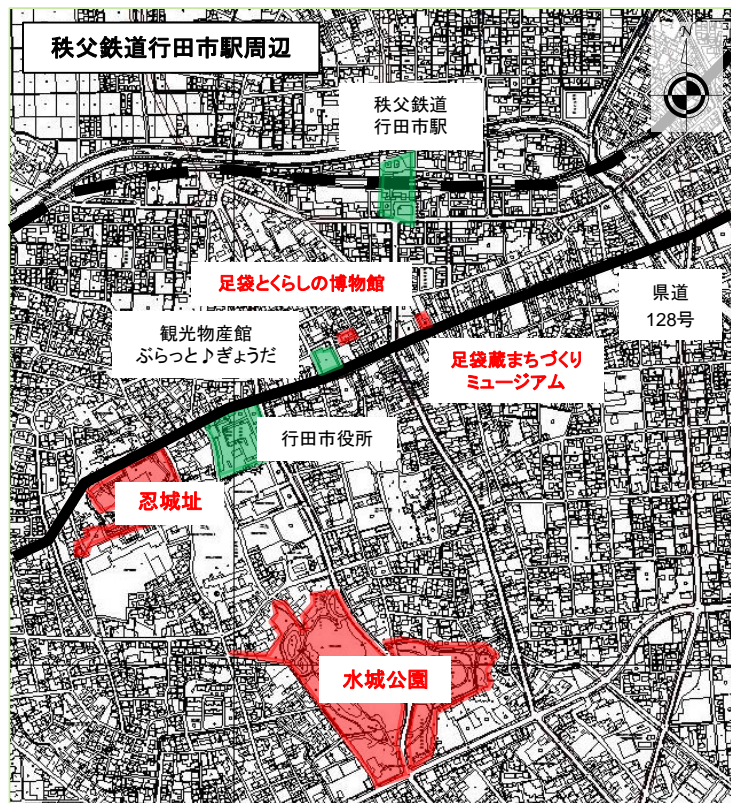
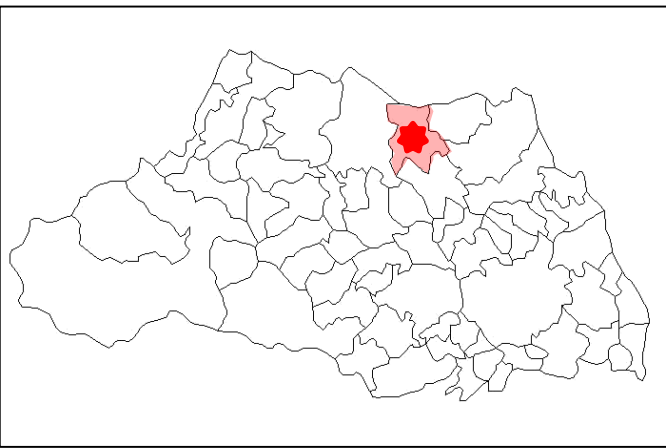
○ 旧街道や旧宿場町などに埋もれている歴史的景観資源を保全・活用し、広域景観形成を進めるプロジェクト。

- ・ 地域景観資源発掘調査
- ・ 歴史のみち景観モデル地区の選定
- ・ 講演会、まち歩きなどの啓発活動
- ・ 景観重要建造物の指定

歴史のみち 景観モデル地区



忍城址周辺地区の概要



地区の概要

○交通
秩父鉄道行田市駅周辺

○なりたち
・江戸時代に忍藩の城下町として発展しました。
・明治になると足袋産業が発展し、最盛期の昭和13年には全国シェアの約8割の足袋を生産する“日本一の足袋のまち”として繁栄しました。

景観資源

忍城址



関東七名城に数えられる埼玉県指定旧跡の本城は、「彩の国景観賞(H5)」、「都市景観大賞(H7)」を受賞しています。

水城公園



忍城の堀や沼を利用し、昭和39年に開設された歴史ある水郷公園で、園内には四季折々の草花が植栽されています。

足袋とくらしの博物館



足袋工場を再現した館内で、足袋づくりの実演見学や“My足袋づくり”体験(要予約)をすることができます。

足袋蔵まちづくりミュージアム



栗原代八商店が建設した白壁の美しい足袋蔵で、平成21年より足袋蔵まちづくりミュージアムとして再活用されています。

忍城址周辺地区の取組

○ 道路整備

「浮き城のまち」にふさわしい、歴史と文化の薫りが漂い、歩きたくなる街なみを創出するため、歴史的街路整備を行い、快適性や回遊性などの向上を図っています。



北谷通り(H27)



八幡通り(H30)

○ まち歩き

まちの現状を確認し、課題や改善策について、ともに考え、情報共有することで、景観まちづくりに対する意識の醸成・高揚を図るため、まち歩きを行っています。



※新型コロナウイルス流行前の実施状況

○ ワークショップ

景観まちづくりに対する意識の醸成・高揚を図るとともに、継続的なまちづくりへの参画意識を高めるため、ワークショップを開催しています。



※新型コロナウイルス流行前の実施状況

○ 講演会

良好な景観の形成を図るとともに、地域住民の景観まちづくり活動の促進に資することを目的に、専門的な知識や経験を有した景観まちづくり活動実践者である「埼玉県景観アドバイザー」による、景観まちづくり講演会を実施しています。



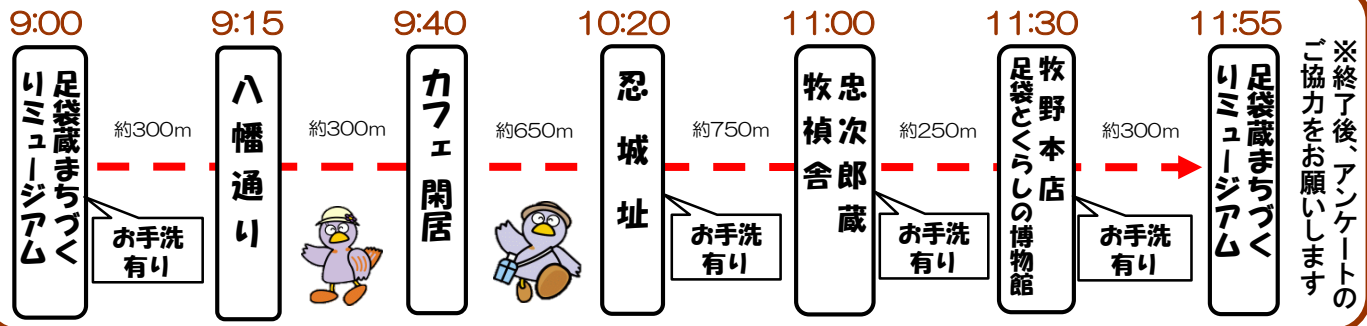
※新型コロナウイルス流行前の実施状況

～まち歩きコースの御案内～



約2.6kmのコースです。

予定時刻



NPO法人 ぎょうだ足袋蔵ネットワーク
 行田市 都市計画課
 埼玉県 都市計画課

まち歩きは3者共同での取り組みです！